

平成 23 年以降の合格者数のあり方について

公認会計士試験については、公認会計士・監査審査会において運用されているところであるが、合格者等の活動領域の拡大が依然として進んでいないことに加え、監査法人による採用が低迷していることに鑑み、平成 23 年以降、当面の合格者数については、金融庁としては、1 千 5 百人程度から 2 千人程度を目安として運用されることが望ましいものとする。